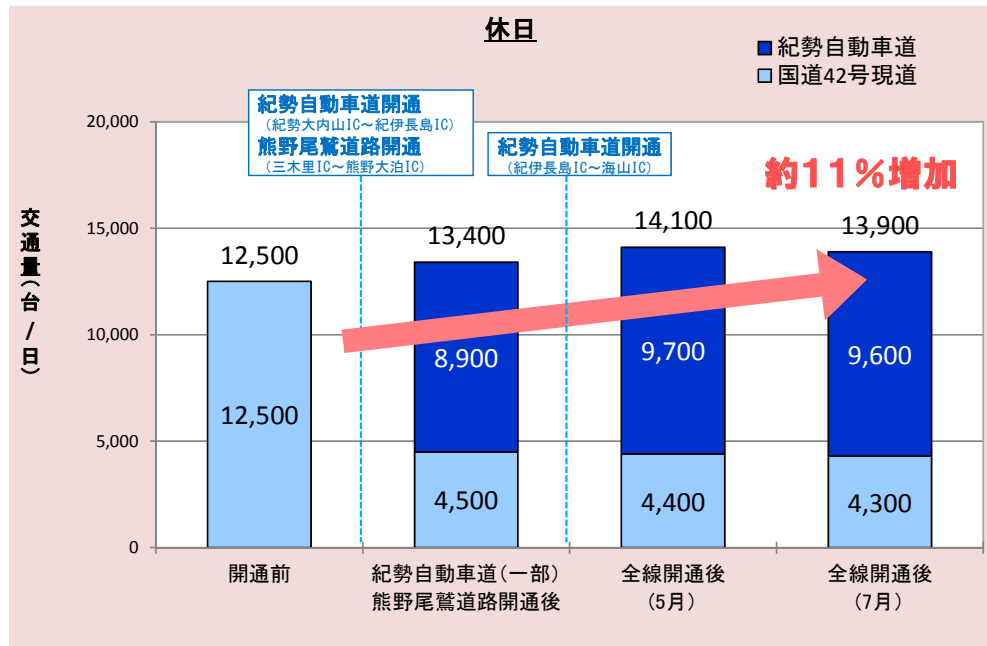


～交通量の状況(地域間交流)～

- 高速ネットワークがつながり、東紀州地域と他地域との地域間交流が増加しています。
- 東紀州地域の玄関口である紀勢大内山IC以南では、休日の交通量が約11%増加しています。

■交通量調査(休日)データ



【調査日】

開通前：H25. 3. 17 (日)
 紀勢自動車道(一部)・熊野尾鷲道路開通後：H26. 3. 16 (日)
 全線開通後(5月)：H26. 5. 18 (日)
 全線開通後(7月)：H26. 7. 27 (日)

※調査時間は7時～翌7時の24時間

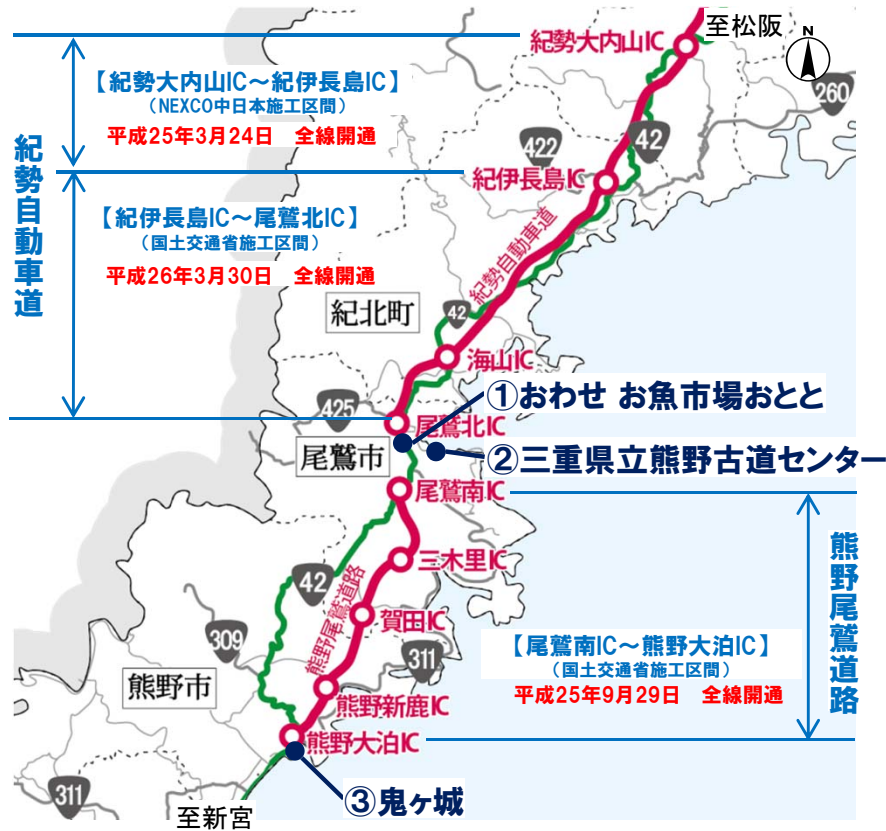
※国土交通省、NEXCO中日本による交通量調査結果より作成

東紀州地域
 紀北町・尾鷲市
 熊野市・御浜町
 紀宝町



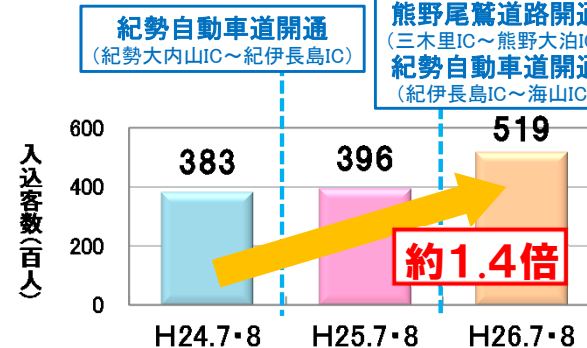
～観光客の増加による地域活性化～

- 観光期における国道42号沿線の主要観光施設の入込客数が大幅に増加しています。
- 「おわせ お魚市場おとと」は、昨年11月に地魚レストランがオープンし、8月は過去最高の入込客数となりました。
- 施設管理者からは「遠方からのお客様が増えた」と効果を実感する声が寄せられています。

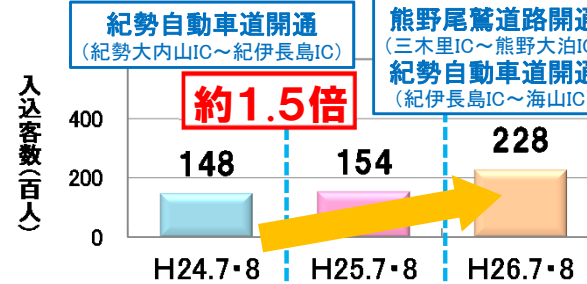


■主要観光施設への入込客数の推移

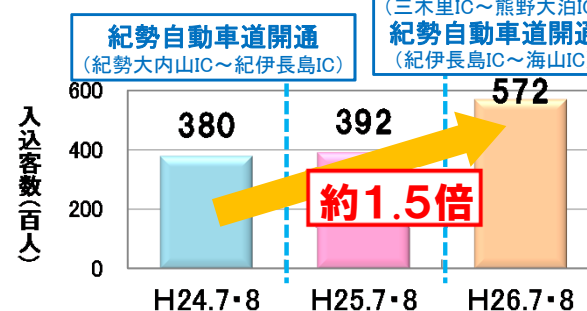
①おわせお魚市場おとと／尾鷲市



②三重県立熊野古道センター／尾鷲市



③鬼ヶ城／熊野市



■おわせ お魚市場おとと 施設管理者の声

- ・ 高速道路開通や広域広告の影響により、北側の伊勢や鳥羽方面からのお客様が増加するとともに、南側の熊野市や御浜町からのお客様も増加してるように感じます。
- ・ レストランも「口コミ」で拡がり、賑わっています。



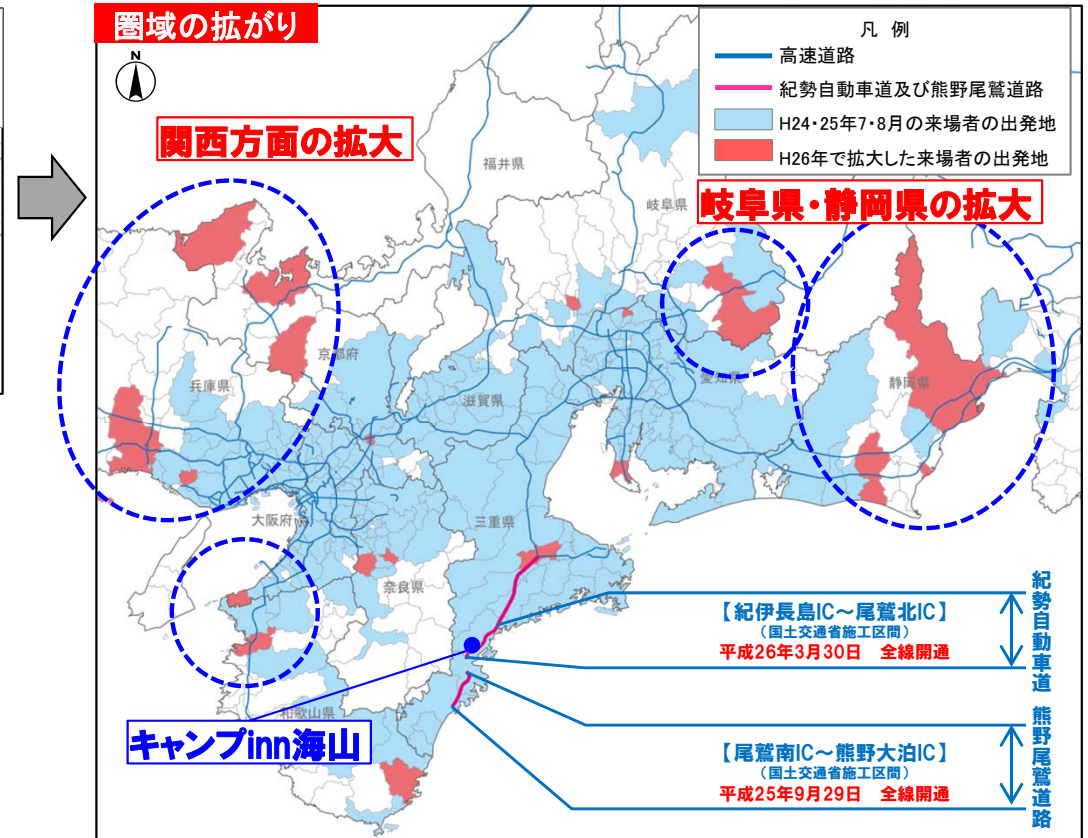
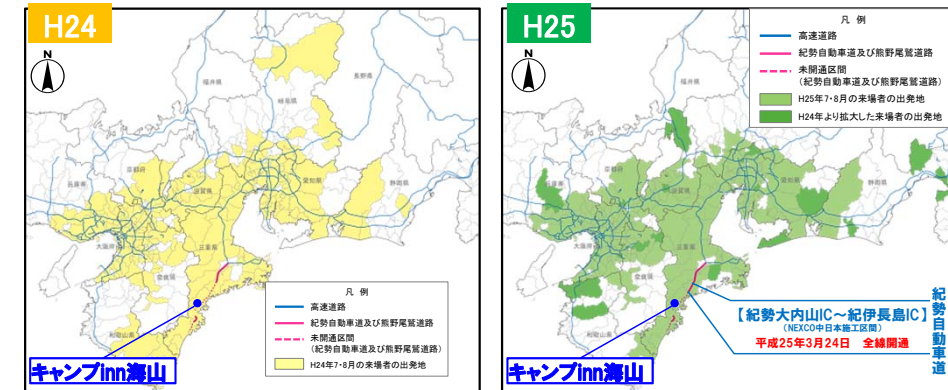
※紀勢国道事務所・尾鷲市によるおわせお魚市場おととへのヒアリング結果

※平成25年観光レクリエーション入込客数推計書及び観光客実態調査報告書、尾鷲市・熊野市提供資料より作成
※平成26年7月8月のデータは速報のため、今後変更になる可能性があります。

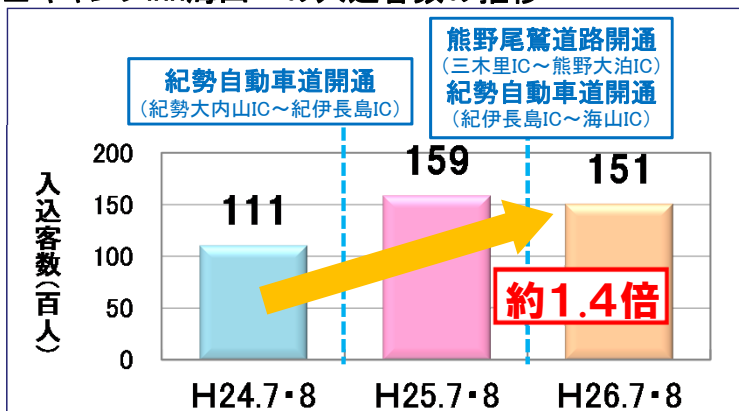
～観光客の増加と観光圏域の拡がり(キャンプinn海山)～

- 紀北町の「キャンプinn海山」は、平成24年と比較し入込客数が約1.4倍と大幅に増加しています。
- 又、「岐阜県・静岡県・関西方面」など、来場範囲が広がっています。

■ キャンプinn海山の来場者の出発地市町村



■ キャンプinn海山への入込客数の推移



■ キャンプinn海山 施設管理者の声

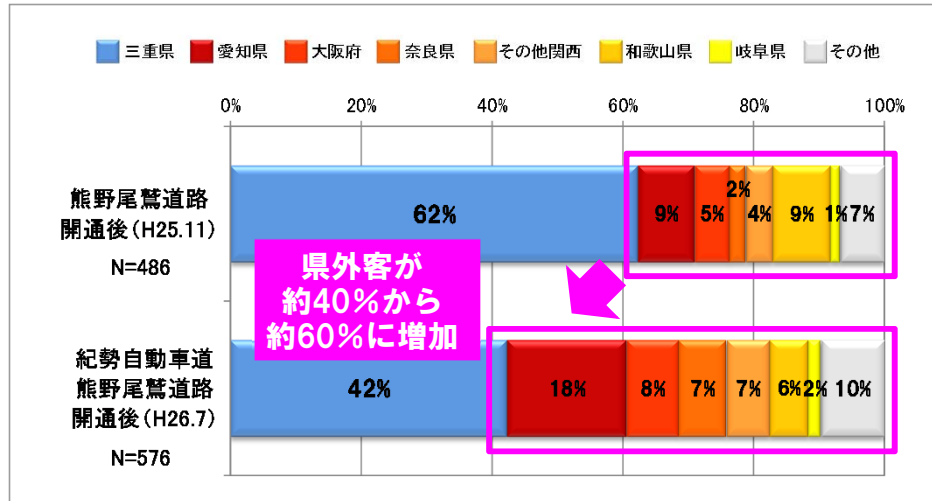
- ・ 昨年、テレビの2時間番組で紹介され、鉾子川の知名度があがったことや高速道路開通の効果もあり、天候には恵まれない夏でしたが、多くの方にご来場いただき賑わいました。
- ・ 特に、関西方面からのお客様が増加したように感じています。



～観光客の増加と観光圏域の広がり(世界遺産熊野古道)～

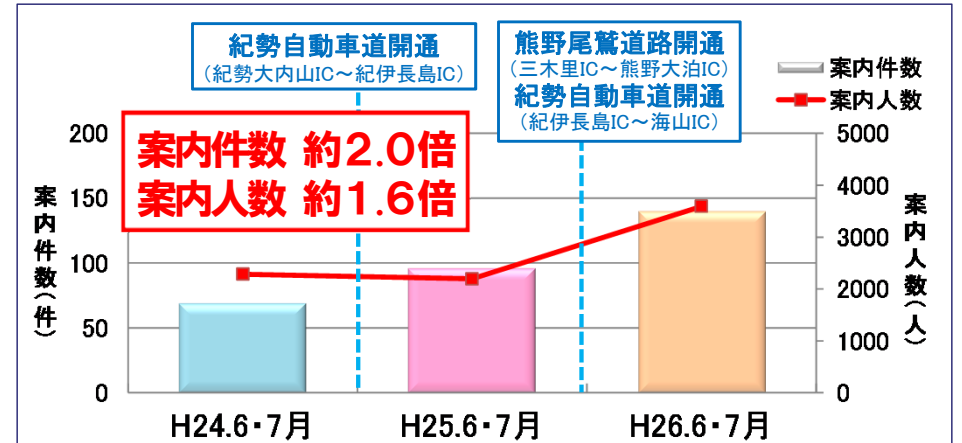
- 熊野古道 世界遺産登録10周年を迎え、三重県・各自治体が行う様々なイベントも相まって、世界遺産の一つである「鬼ヶ城」では、紀勢自動車道開通後、県外からの観光客の割合が増加しています。
 - また、平成24年と比較し、熊野古道の語り部※による案内件数が約2.0倍、案内人数が約1.6倍に増加しています。
- ※熊野古道を案内するガイド

■鬼ヶ城の来訪車ナンバー(車籍地)の内訳



※紀勢国道事務所による車籍地調査結果より作成
調査日: 平成25年11月23日(土)、24日(日)、平成26年7月26日(土)、27日(日)

■熊野古道 語り部による案内件数と案内人数



※東紀州地域振興公社提供資料より作成

■熊野古道世界遺産登録10周年を盛り上げるパンフレットやチラシ例



■東紀州地域振興公社の声

- ・ 高速道路開通・世界遺産登録10周年とあわせて、熊野古道の来訪者は増えています。特に、最近、関西方面からの来訪者が増えているように感じています。
- ・ また、高速道路の開通により、日帰り圏域が広がっていることが、旅行会社がツアーを組みやすくなっている一因だと思います。



※紀勢国道事務所による東紀州地域振興公社へのヒアリング結果

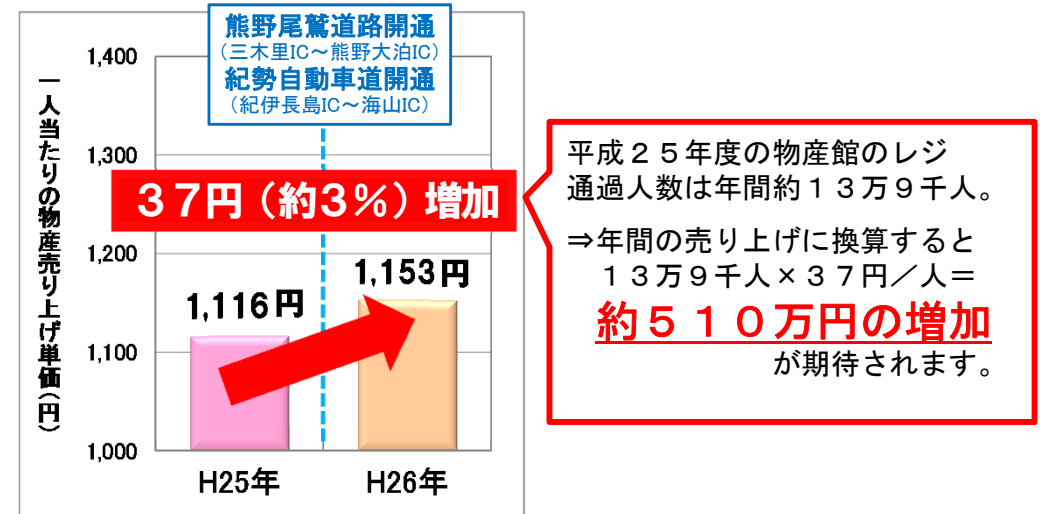
～ アクセス向上による波及効果 ～

- 紀宝町にある道の駅「紀宝町ウミガメ公園」において、観光客1人当たりの物産売り上げ単価が増加するなど、熊野市までのアクセス向上による波及効果がみられます。
- 道の駅からは、「遠方からのお客さんが増え、大量にお土産を買うお客さんが増えた」との声がありました。

■ 道の駅「紀宝町ウミガメ公園」と高速道路の位置



■ 観光客1人当たりの物産売り上げ単価(7～8月)



※紀宝町提供資料より作成

※1人当たりの物産売り上げ単価は消費税抜きの価格

■ 道の駅「紀宝町ウミガメ公園」 施設管理者の声

- ・ 高速道路開通後、観光客が増加しています。
特に、連続した休みに観光客が増加する傾向が強いです。
また、名古屋方面からの観光客が増加しているように感じます。
- ・ 大量にお土産を買うお客さんが増え、観光客1人当たりの売り上げ単価が増加しています。
その要因の1つに、遠方からのお客さんが増えたことが考えられます。

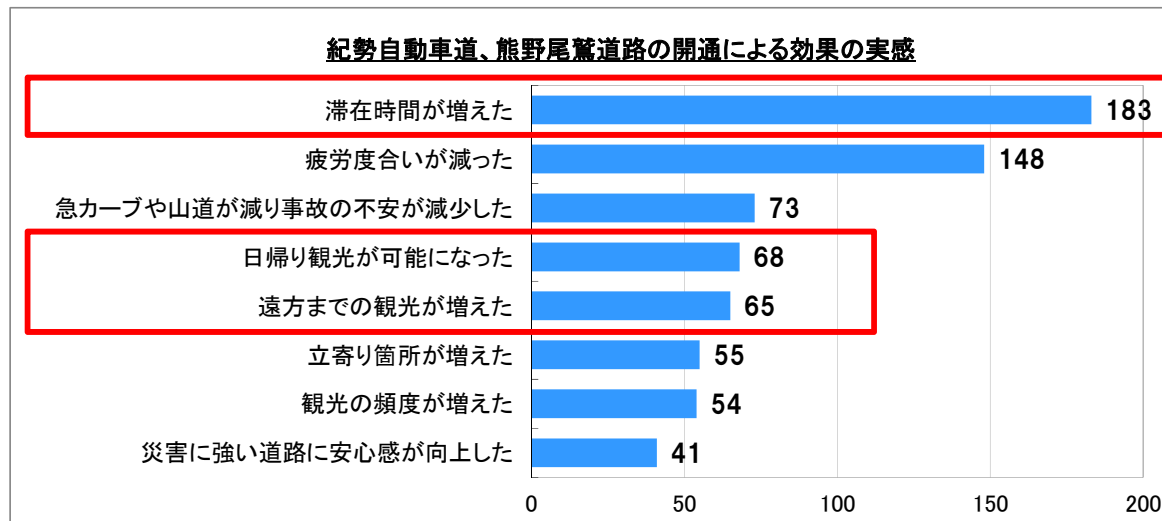


※紀勢国道事務所・紀宝町による道の駅紀宝町ウミガメ公園へのヒアリング結果

～観光客が感じている効果の実感(アンケート結果など)～

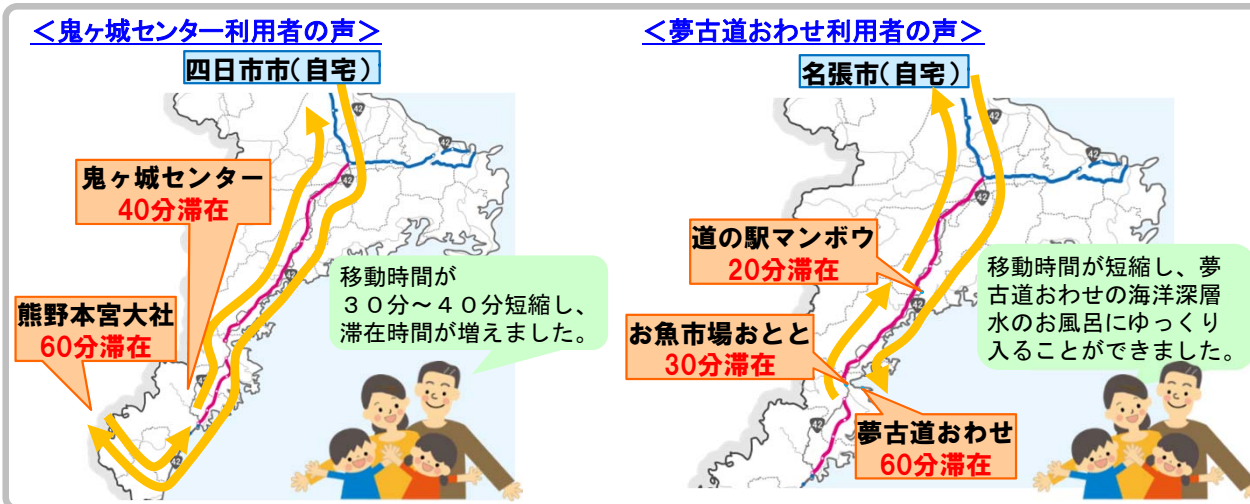
- 高速道路の開通による効果の実感として、「滞在時間が増えた、日帰り観光が可能になった、遠方までの観光が増えた」などの声がありました。
- また、鬼ヶ城センターでは30分を超え滞在する人の割合が約1.4倍に増加するとともに、施設管理者からも効果を実感する声が寄せられています。

■開通による効果の実感



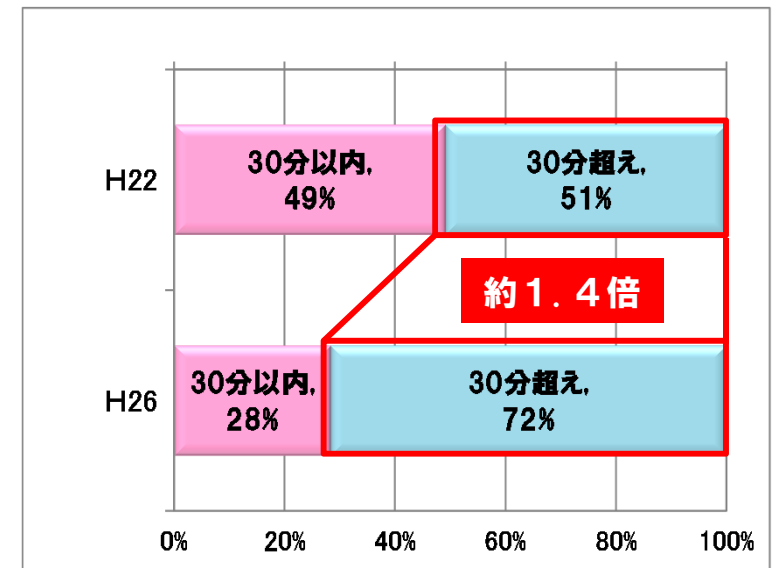
※紀勢国道事務所による観光客へのアンケート結果より作成
調査日：平成26年7月26日(土)、27日(日)：N=518

■利用者の声



※紀勢国道事務所による観光客へのアンケート結果より作成 調査日：平成26年7月26日(土)、27日(日)

■鬼ヶ城センターの滞在時間の変化



※紀勢国道事務所による観光客へのアンケート結果より作成
調査日：平成22年7月24日(土)、25日(日)：N=106
平成26年7月26日(土)、27日(日)：N=53

■鬼ヶ城センター 施設管理者の声

- ・ 高速道路開通後は、観光バスが早く到着できるようになったため、散策する観光客が増えているように感じます。
- ・ また、お土産を見る時間も増えたため、買い物をするお客さまが増加しています。



※紀勢国道事務所による鬼ヶ城センターへのヒアリング結果

東紀州地域高速道路整備効果検討会

平成26年6月に国・高速道路会社・県・市町が一体となり「東紀州地域高速道路整備効果検討会」を設立しました。

東紀州地域では昨年度、紀勢自動車道・熊野尾鷲道路が開通しました。

高速道路の開通を機に自治体による記念キャンペーン等の取組の結果、当地域には多くの観光客が訪れるなど、高速道路の開通による様々な効果が表れています。

今回、高速道路の開通がもたらした様々な効果を「国・高速道路会社・県・市町が一体」となつて、幅広く調査・分析する事で、「個々では見えなかった効果」や「今、地域が必要としている事」などを把握し、それを広くPRする事などにより、東紀州地域の更なる地域活性化に期待しています。

三重県県土整備部道路企画課・尾鷲市市長公室・熊野市市長公室・紀北町企画課

御浜町産業建設課・紀宝町企画調整課・中日本高速道路株式会社名古屋支社

国土交通省中部地方整備局紀勢国道事務所



三重県



尾鷲市



熊野市



紀北町



御浜町



紀宝町



中日本高速道路(株)



国土交通省